

令和5年度梨防除暦講習会

令和5年1月19日（木）

西部支店 会議室

1) 開会

2) 挨拶 梨生産部会長

昨年の降雹被害、近年の温暖化による開花後の遅霜等梨にとってとても栽培環境が厳しくなっているが、今年も出来る限りのことを行い、出荷に臨みたい。また、今回防除暦では変更点が多くあるとのことなのでしっかり勉強していきたいと思う。

3) 紹介 社会福祉法人ゆずりは会エール

昨年から正観寺の梨生産者の園を借りて梨栽培に取り組む。面積は40a。

4) 講習事項

- ・ 令和5年度防除暦について 全農ぐんま肥料農薬課
変更点の説明
天敵（ミヤコバンカー）の使用方法について説明
- ・ 液肥（アマナル）について (株) 生科研
アマナルの特性について説明



糖の向上に

高品質な果実づくりに

新発売

液状複合肥料

アマナル

(0-12-10)

(登録番号:生第105350号)

特長

- 糖の生合成に関与する糖化合物を配合しています。
- 果実の糖度向上に効果があります。
- 作物の耐寒性を高める効果が期待できます。

ポリリン酸配合



●お問い合わせ先

0120-376-831

[受付時間]
平日9:00
~17:00

土づくりに役立つ情報がいっぱい
ホームページはこちら!

生科研

検索

<https://n-seikaken.co.jp>



株式会社 生科研

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子312-4

糖の向上に アマナル

包装

2kg

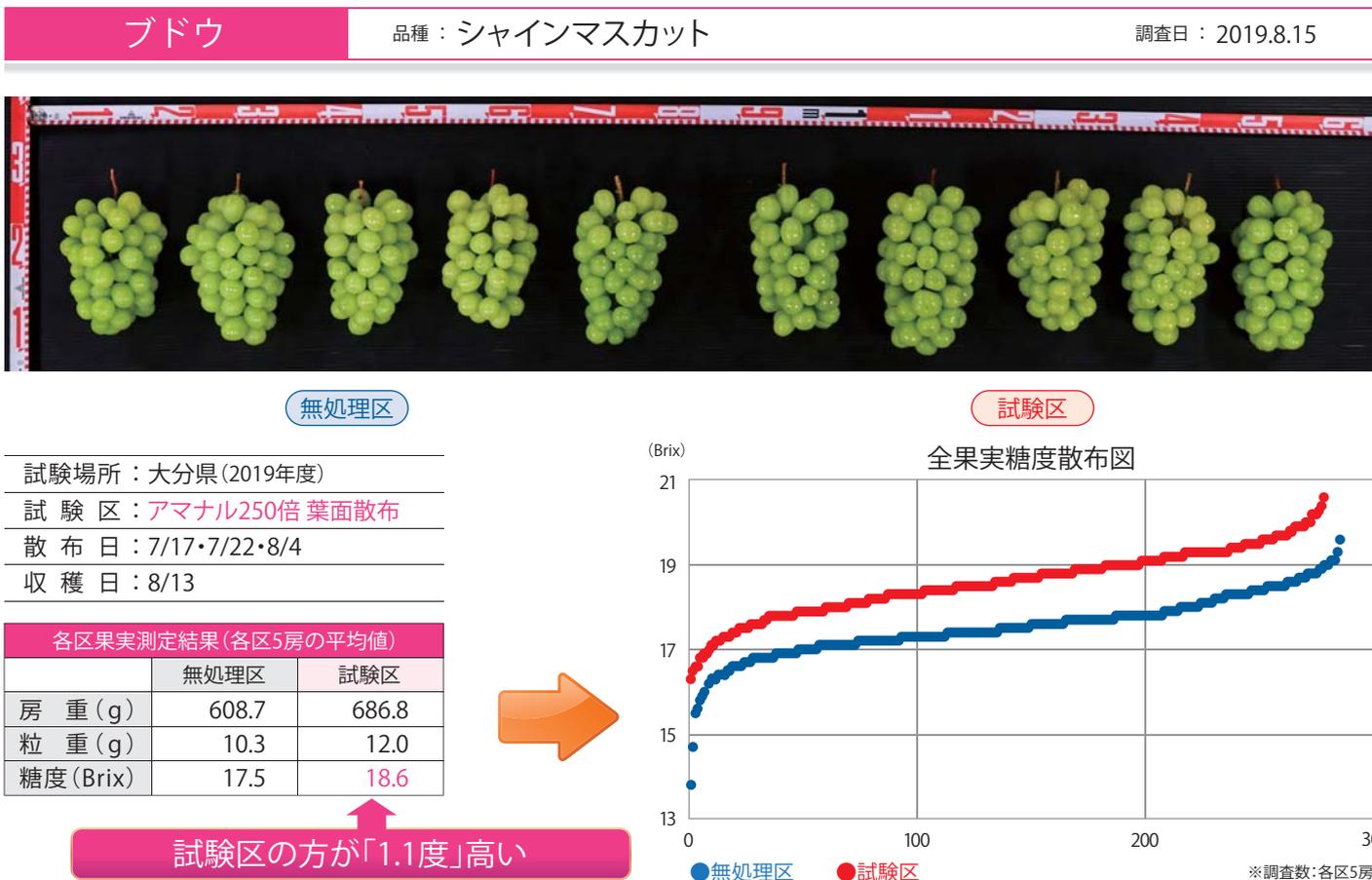
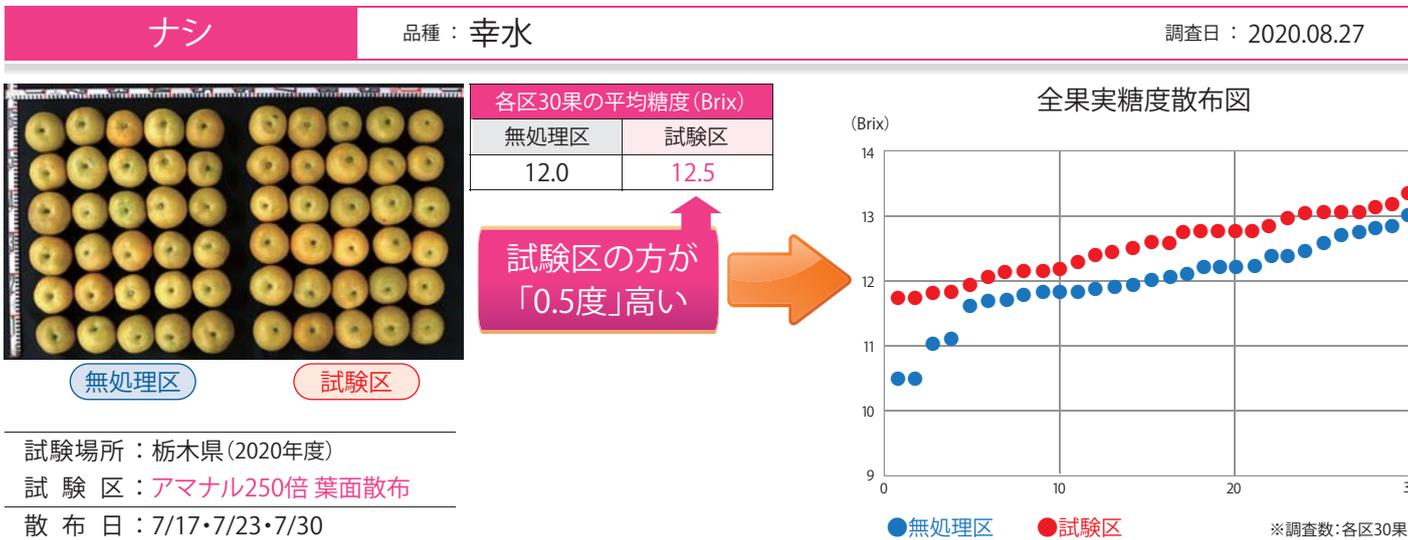
10kg

20kg

《使い方》

- 250倍にうすめて葉面散布してください。
※本製品約320ml(400g)を100ℓの水にとかすと約250倍液になります。
- 肥大後期～成熟期(目安:収穫の約1カ月前～)に、5～7日おきをめどに3回以上葉面散布してください。
- 収穫1週間前を最終散布日の目安としてください。

《効果事例》



《使用上の注意》

- 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。
- 目に入らぬように注意し、もし目に入った場合はすぐに水で十分に洗い流してください。
- 高温で日照の強い時など、不適と考えられる条件での散布は、避けてください。早朝もしくは夕刻の涼しい時に散布してください。
- 高温で散布後の液剤が乾燥しにくい時や樹勢の弱い園では、散布をひかえてください。
- うすめた液はその日のうちに使い切ってください。
- 原液の色が濃くなることがありますが、効果に変わりはありません。
- 直射日光を避け涼しい所に保管してください。
- 沈殿物や結晶を生じることがありますので、よく振ってお使いください。
- 詳しい使い方については、JAまたは農業技術指導機関にご相談ください。

ハダニ防除に 新たな一手！



殺ダニ剤

ダニオーテ[®]フロアブル



日本曹達株式会社

ダニオーテ[®]フロアブル

有効成分：アシノナビル……20.0%
 人畜毒性：普通物
 (毒劇物に該当しないものを指している通称)

特長

- ★新規の作用機構を有する殺ダニ剤で、既存剤に対して感受性の低下したハダニ類に優れた効果を示します。
- ★各種ハダニ類の全ステージに活性を示します。
- ★これまで薬害の発生事例がありません。
- ★天敵・有用昆虫への影響が少なく、IPM(総合的病害虫・雑草管理)での活用に適しています。
- ★気温による効果変動が小さく、安定して高い効果を示します。

安心してお使いいただくにあたり ； ★銅剤との混用ができません(近接散布にご注意ください)。

下記注意事項をご確認ください。

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アシノナビルを含む農業の総使用回数
かんきつ	ミカンハダニ	2,000~3,000	200~700	収穫前日まで	1回	散布	1回
りんご		1,000~2,000					
なし おうとう 小粒核果類	ハダニ類	2,000					
いちご なす すいか			100~300		2回以内		2回以内

殺ダニスペクトル

◎：優れた効果が認められる ×：効果が認められない

科目	属名	種名	効果
ハダニ科	Tetranychus属	ナミハダニ	◎
		カンザワハダニ	◎
	Panonychus属	ミカンハダニ	◎
		リンゴハダニ	◎
フシダニ科	Aculops属	ミカンサビダニ	×
ホコリダニ科	Polyphagotarsonemus属	チャノホコリダニ	×

ハダニ類に高い防除効果を示します(サビダニ類、ホコリダニ類には効果が期待できません)

影響が認められなかった有用生物・天敵(IOBC基準による)

- ★セイヨウミツバチ
- ★クロマルハナバチ
- ★マメコバチ
- ★ヒロズキンバエ
- ★ミヤコカブリダニ
- ★スワルスキーカブリダニ
- ★リモニカスカブリダニ
- ★チリカブリダニ
- ★タイリクヒメハナカメムシ
- ★タバコカスミカメ
- ★コレマンアブラバチ



△効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 使用前によく振ってから使用してください。
- 本剤は銅を含む製剤と混用及び近接散布で防除効果が低下するおそれがあるため、使用の際は次の事項に注意してください。
 - ①銅剤との混用はさけてください。
 - ②本剤を散布した後に銅剤を使用する場合は、10日以上散布間隔を空けてください。
 - ③銅剤を散布した後は本剤の使用をさけてください。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、できるだけ年1回の散布とし、作用性の異なる他の薬剤と輪番で使用してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の

責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

△安全使用上の注意

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

保管：直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
 ☎(03) 3245-6178 FAX(03) 3245-6084
<https://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>

※本資料は2020年7月現在の登録内容に基づいています。